

# 志小安全・防災だより



R元. 8. 26 No.16  
安全・防災担当:早坂 潤

## お陰様で事故やけがのない夏休みを過ごすことができました

夏休み期間中に巡視をしていたら、新しい消防署前から沼田方面に向かう道路を買い物の袋を手に、歩道を元気に登っていく子や、ヘルメットをしっかりとかぶり、自転車のかごの中に虫かごを入れ、とても楽しそうに自転車に乗っている子どもたちと出会いました。道路を歩いている子どもたちの姿、自転車に乗っている子どもたちの姿から、お家の人や学校から常に言われていることをしっかりと守って安全に生活しようとしている様子が伝わってきました。生涯学習センターの図書館でも何人かの子どもたちと出会いましたが、館内での約束事をしっかりと守って周りの人のことも考えた行動ができていた話を聞かされ、嬉しく思いました。とても暑い日が続き熱中症等の心配もされましたが、全員が元気に2学期始業式に臨むことができました。2学期も子どもたちが安心して学校生活を送れるように日常の安全指導に力を入れていきます。

## 台風シーズンに向け、危険な場所をしっかりと教えていきたいです

台風接近時に海に遊びに行き、高波にさらわれる事故が多発した夏休みでした。ニュース等で放映されていた場所は、どちらかというとも西日本での事故が多かったようですが、話題となった“一発大波”は、台風が多く発生する時期に海岸沿いではどこでも起きる可能性があると言われていています。まだまだ暑い日が続き、海に遊びに行く機会もあると思いますが、台風が接近しているときだけでなく、台風が通過した後も注意が必要であることが言われています。天気がよいからといって油断することなく、十分に気を付けてほしいです。

先日地元の方と釣りに行ったときの事です。防波堤の裏手側に魚が潜んでいるような場所を見つけたので、私は、その場所を釣りのポイントとしようと思いました。そのとき、「そこは危ない。波が上がってくるところだ。」と地元の方から言われました。私は、どのような状態になるのか、気になったので、竿を出しながら波の様子を見ていました。しばらく何も危険を感じさせない状態が続いていましたが、次の瞬間大きな波がその場所に突然ぶつかってきて勢いよく水しぶきを上げました。私はこのような波がくることの予測が付きませんでした。地元の方は、大きな波がくることを感じていたのです。なぜ分かったのかと聞くと、薄っすらとその場所がぬれていたのと、波がぶつかるにおいがしたとのことです。また、小さいころから、高波の危険性を海で仕事をするおばあちゃんから教えられていたとのことです。



このように波をかぶった跡があるところは要注意です。景色がよいと思って上ったり、釣りをしたりするのは大変危険なことだということを教えられました。

